

克雪体制整備 上村氏が講演

村山でシンポ

克雪対策シンポジウム「克雪体制の整備と克雪住宅の普及に向けて」が13日、村山市の甌葉プラザで開かれ、新潟県の長岡技術科学工学部の上村靖司准教授



写真1らが講演した。上村准教授は「地域にお

ける克雪体制整備について」と題して講演した。「雪のための法整備や技術は進歩したが、雪害に遭う人は減っていない」と指摘。理由として「高齢化や過疎化で、自分で除雪する人がけがをしたり、助け合っ

とが困難であることが挙げられる」などと説明した。さらに▽自主防災組織づくり▽雪置き場などに利用するのための空き家対策▽除雪を楽にするための居住人数に合わせた住宅縮小化などを提案した。

引き続き、防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所の阿部修支所長が講演。上村准教授や阿部支所長、建設会社の役員らによる「克雪住宅の普及と地域共助のあり方について」をテーマにしたパネル

ディスカッションが行われた。

シンポジウムは、県村山総合支庁北庁舎に事務局がある「やまがたゆきみらい推進機構」などが主催し、約200人が参加した。